



# 国鉄新潟

NO. 699  
発行  
10・6月28日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
関川 和彦  
編集責任者  
教 宣 部

## 磐越西線の駅調査

今回は、「JR（国鉄）の安全と利便性をもとめる」新潟地区連絡会議の磐越西線の駅調査を紹介しします。

### 駅舎はいらない 更地にしたい

三月末に磐越西線の駅調査を行いました。東新潟・北五泉・五泉・猿和田・馬下・咲花・東下条・五十島・三川・津川・鹿瀬・日出谷・豊美・県境を越えて徳沢まで行っ

JR（国鉄）の安全と利便性をもとめる  
新潟地区連絡会ニュース 2010年5月23日  
連絡先 025-244-1284  
http://members.nccw.kobe.nu.jp/ncsd/ikushuip.html

磐越西線の駅調査  
JR「駅舎はいらない、更地にしたい」、町で買上げ、

3月末末に磐越西線の駅調査を行いました。東新潟、北五泉、五泉、猿和田、馬下、咲花、東下条、五十島、三川、津川、鹿瀬、日出谷、豊美、そして県境を越えて徳沢まで行ってきました。

なんと行っても驚いたのが、此處駅です。駅舎の中で座席が設置してありました。「どうしてですか？」とお客の人に聞くと、「JRが「駅舎を取り壊して更地にしたい」と言ってきた。町としては困ることなので」と話した結果、駅舎を町で買収することになった。それで町から駅舎を借りて座席を設置している」ということでした。右の写真は鹿瀬駅ですが、真ん中の小さい駅舎には「観光案内所」となっています。

各駅舎の状況をもう一度調べると、  
★北五泉駅一駅舎が新築の立派な建物になっていて、中に入ると暖房が入っており、待合形式のイスもあり、入りがて駅舎も観光しています。しかしJRの駅舎ではなく、「五泉総合案内センター」でした。

●三川駅「三川地場産業センター」  
●日出谷駅「農協日出谷支社」  
●鹿瀬駅「郵便局」




てきました。

なんと行っても驚いたのが、鹿瀬駅です。駅舎の中で座席が設置してありました。「どうしてですか？」とお店の人に聞くと、「JRが「駅舎を取り壊して更地にしたい」と言ってきた。町としては困ることなのでJRと話し合った結果、駅舎を借りて座席を開業している」ということでした。  
鹿瀬駅は「観光案内所」となっています。

「新潟地区連絡会議」の磐越西線の駅調査の実施について紹介します

### 北五泉駅は五泉総合案内センター

各駅舎の状況を調べると、北五泉駅は駅舎が新築の建物になっていて中に入ると暖房が入っており、待合形式のイスがあり、人が切符を販売しています。しかしJRの駅舎ではなく、五泉総合案内センターでした。

## ご存知ですか？ 新潟地区連絡会議

新潟地区連絡会議は、1986年4月9日に「国鉄の分割・民営に反対する新潟地区連絡会準備会」が結成され4月21日に「国鉄分割・民営に反対する新潟地区連絡会議」が結成し総会が開催されました。16団体の参加で結成され、国鉄の分割・民営に反対し、国民の足を守るため闘ってきました。当時は「国鉄問題」の学習会の開催、宣伝行動、ニュースの発行や連絡会への参加を訴え、運動が展開されてきました。決起集会など、いくつか開催されましたが文化的な内容の濃い企画で国鉄問題、現場の状況などを訴えるものでした。国鉄まつりの開催では、11000人が結集する大成功でした。人活裁判闘争の支援なども中心の運動でした。現在は「JR（国鉄）の安全と利便性をもとめる新潟地区連絡会議」という組織名で運動が展開されています。



- 「三川駅」
- 「三川地場産業センター」
- 「日出谷駅」
- 「農協日出谷支社」
- 「徳沢駅」
- 「郵便局」

東新潟駅・東下条駅・津川駅の駅舎は新築されて立派なものでした。JRではなく、町が金を出してつくったようです。

最近橋上駅になった信越線・矢代田駅の改修では総額（自由通路も含め）十四億六千万円、そのうち駅舎整備に六億円余がかかっており、JRの負担はわずか四千九百万円（駅舎整備の七％）でした。



### ホームに屋根は五泉・津川駅のみ

ホームにきちんと屋根があつたのは、五泉と津川駅のみでした。北五泉・咲花・五十島駅では半分にも満たない屋根しかかかっていませんし、鹿瀬と豊美では一両分しか屋根がかかっていません。

### 一日片道七本の列車しか走っていない

豊美駅では、一日片道七本の列車しか走っていない。九時五二分以降十五時四二分まで下り（新潟・津川方面）の列車がありません。

六時間近くも列車がないのです。上り（会津若松方面）は十二時五分から十七時四二分まで列車がありません。お客が、ないからといって利便性を損なえば、余計お客は降りません。「走らせているだけありがたいと思え」とでもJRは言うのでしょうか。



# 身近な世話役活動から

ブロック別組織対策交流集会に参加して  
新潟県支部・福富執行委員

この度、上記の集会上に、三浦半島の地入りしてきました。  
今回の力の入れようは違います。今まで、エリア一括でやってきたものが、何と四回に分け、その参加者も並々ならぬ多さです。  
それに対して私達参加する方はどうか、他地域の活動内容、拡大結果を聞くに、こちらもできる？  
代表される労働組合としての運動と、日常的な結びつきが大事だということです。  
JR不採用事件が、再雇用の部分を残しているにせよ、大体は解決、そしたら次は組織の拡大ですね。  
今の新潟の状況は深刻です。国労の旗を次く者がいなくなる日が近づいているのです。  
皆さん、本当に深刻に受けとめ組織拡大にうって出ようではありませんか。身近な世話役活動からいいです。

# 新聞のつくりかた

## 言葉癖や方言にも注意を

人柄はふしぎなもので、その人のものの言い方にも現れます。素顔や人となりを伝えようとする時、相手の言葉の癖や方言があれば、それを取り入れて書くと、相手の人物像が生き生きと伝わってきます。なんでもかんでも、<折り目正しい>共通語(標準語)にまとめずに、個性的な言葉癖や人間味豊かな方言などは積極的に紹介しましょう。

## 「感動」「発見」を押し出す

人間の素顔や人となりを紹介する時、書き手自身の「面白い人だ」「素晴らしい人だ」「この人に、こんな側面が」と言う感動や発見があると、記事がまとめやすくなります。語り手に向かって十分に心を開いて、その人の持ち味をしっかり受けとめるようにしましょう。上っ面だけの人間観察をひらかすのではなく、自分の発見や感動を素直に書くことが、読者の共感を呼びます。



1047名解決報告  
新潟県集會

8月1日  
13時開場  
13時30分開会

新潟市・自治労会館(予定)

講師・加藤晋介弁護士



# 編集後記

今号、六九九号で、年間発行三〇号が達成されました。今回は、後半になって、発行数が少なく、厳しい状況が続きましたが、何とかこの日を迎えることができました。  
引き続き、「国鉄新潟」の発行についてがんばっていく決意です。よろしくお願ひします。  
皆さん方、多くの投稿をお待ちしています。

